



公明党  
内藤美佐子  
ないとう み さ こ

## 若者をはじめとする有権者の投票率向上へ 教室での政党機関紙コピー配布は言語道断！

**問** 投票日当日、人の集まる場所に誰でも投票可能な「共通投票所」の設置は。  
**答** 総務課長 利便性に効果はあるが、一重投票防止等のシステム構築が必要。今後選管にて調査研究する。

**問** 期日前投票所の増設は。  
**答** 総務課長 物理的には可能だが、場所や職員体制の課題があり、選管で継続的に調査研究する。

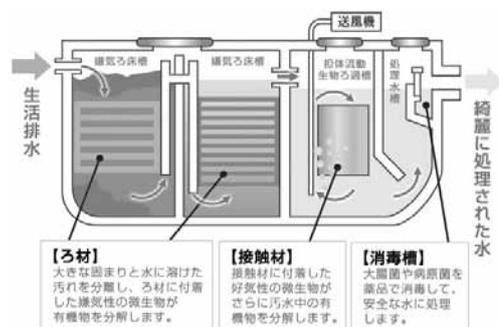
**教育は政治的中立で**

**問** 春日部市教諭が公立中学校教室でマイナバー・安部関連法反対の「赤旗」コピーを配った問題がニュースとなった。この件での当町教育委員会の見解は。  
**答** 教育長 生徒が政治に関心を持ち問題意識を持つことは大切だが、特定の主義主張を一方的に授業で扱うことは不適切である。

**問** 本町の小中学校の全教諭に対して、主権者教育における政治的中立の指導は。  
**答** 学校教育課長 校長会等あらゆる機会を通じ、指導していく。

**浄化槽行政について**

**問** 川をきれいにするにはは元をきれいにしなければ



合併処理浄化槽のしくみ

ならない。単独浄化槽から合併浄化槽への転換は。  
**答** 環境課長 多額の費用がかかるが、その必要性を設置者に指導している。

**問** 合併浄化槽整備への補助制度が必要では。  
**答** 環境課長 現在は実施していないが、検討する。

**問** 浄化槽法第11条規定の法定検査実施状況は。  
**答** 環境課長 受検率は県平均よりは高いが、一層の向上に向け努力する。

**問** 浄化槽の保守点検、清掃、法定点検の「一括契約制度」を導入しては。  
**答** 環境課長 環境省による推進の制度であり、事業者の意見を聞き研究する。



新芳会  
鈴木 淳  
すずき じゅん

## 企業・人に選んでもらえる三芳町を目指して 企業誘致・留置のためにも容積率の緩和を！

**問** 三芳スマートICフル化による企業誘致の進捗は。  
**答** 都市計画課長 開発相談まで出ているのは1件。

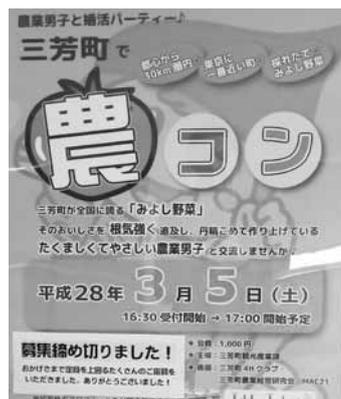
**問** 企業誘致を進めるための町独自の優遇措置は。  
**答** 政策推進室長 立地的優位性が認められるため、現状では考えていない。

**問** 立地的優位性だけで、他の自治体に勝てるのか。  
**答** 政策推進室長 町内の企業数も微減している。企業側の意見も聞いて優遇措置も考えたいと思う。

**問** 建築物等の建ぺい率・容積率などを定める都市計画の変更の手順は。  
**答** 都市計画課長 町と県の協議↓住民説明会↓公聴会↓国との協議↓案の縦覧↓町・県の都市計画審議会↓国の同意↓都市計画決定↓同意と時間がかかる。

**問** 町内企業から容積率緩和の要望は出ていないのか。  
**答** 都市計画課長 平成24年に三芳町商工会から議会宛に要望が出ています。

**問** 住民や不動産業者からの容積率緩和の要望は。  
**答** 都市計画課長 業者からは何度か要望されています。



5組のカップルが成立！

**問** 県が指定する都市計画画であるが、変更には町が積極的に県に訴えていくべきと思う。その点についての今後の町の考えは。  
**答** 町長 容積率は緩和する方向で進めていきたい。第5次総合計画にも「都市計画の見直し」を明記した。

**婚活事業について**

**問** みよし野菜のPRにもなる3月5日の婚活パーティー、参加希望人数は。  
**答** 観光産業課長 町内の農業男子11名。女性は22名の応募者から抽選で15名。

**問** 町内にはお婿さんを募集している女性もいるが、今後の開催予定は。  
**答** 観光産業課長 今後も希望があれば開催したい。



三芳みらい  
**抜井尚男**  
 ぬくい ひさお

## 三芳町財政について

財政再建に向けて町債削減や経常経費抑制を

三芳町財政当局においては、ここ数年財政健全化を旨として歳出削減等の取組みを行っているところであるが、扶助費（福祉費等の支出）や町債（町の借金）の増額や基金全般（町の貯金）の減少等を考えると、将来の三芳町財政状況は憂える状況である。今後は、更なる削減と健全化を町民の全体との共通認識として、町ぐるみで取組むべきと考え今回の質問を行う。

**問** 過去の財政状況の分析をどう捉え、その分析結果を現在の財政運営にどう生かしているのか。

**答** **財務課長** 過去の三芳町は自主財源である税収入の歳入全体における割合が高く、財政力指数は平成20年度には1.24に上り、この財政力をベースに様々な施策を展開してきた。しかし平成20年のリーマンショック以降税収が一気に減少し、その後の伸びは鈍化している。以上の現状を全職員が理解できる講習を行ったり、新たな財源の創出や事業の見直しを実施している。

**問** 経常収支比率（弾力性）が100に近い要因は。

**答** **財務課長** 過去の豊富

な税収による行政サービスを行ってきたが、近年の税収減少による事業の縮小や削減が出来ていないためだ。

**問** 経常経費削減について尋ねる。町内集会所数は26軒で稼働率は25%だが他の市町に比べてどうか。

**答** **副町長** 集会所一室に対する人口の数が県平均は1300人、三芳町は640人と半分の人口比であり管理も自治会等で行っている地域も県内にあるようだ。

**問** ふれあいセンター運営を日中の集会所で行いバス運行等も削減しては如何か。

**答** **福祉課長** 考え方として、今後の利用者との話し合いでの参考にした。



ふれあいセンターと送迎バス

## 18歳選挙権について

不登校、ひきこもりの対応について



新芳会  
**細田三恵**  
 ほそだ みつえ

**問** 三芳町の直近、4回の国政選挙投票率の推移は。

**答** **総務課長** 平成22年60.4%、平成24年59.7%、平成25年54.9%、平成26年59.1%である。

**問** 平成26年衆議院議員選挙での年齢別の投票率は。

**答** **総務課長** 衆議院議員選挙の値は手作業の為難しく、直近の埼玉県知事選挙からパソコンにて投票率を集計しているので、その値では、20代13.5%、30代17.6%、40代22.9%、50代28.8%、60代38.1%、70代44.4%、80代26.3%である。

**問** 年齢が引き下げられることによる、新たな有権者はどのくらいか。

**答** **総務課長** 1月末現在の住民基本台帳によると、18歳368人、19歳389人、合計757人である。

**問** 18歳19歳の主権者教育、当町での啓発、周知計画は。

**答** **総務課長** 学生アルバイトによる選挙事務従事、中学校生徒会選挙による

実際の機材の貸出し、選挙啓発ポスターコンクール等を行っている。今後は、教育委員会とも連携したい。

**問** 小学校児童会長選出がなくなり、代表委員になつた経緯は。

**答** **学校教育課長** 児童の発達段階を考慮し、小学生ひとりが児童会長の重責を担うのは非常に負担が大い。現在は、各委員会活動の中に、代表委員会を並列に組織するなどしている。

**不登校、ひきこもり、ニートの対応について**

**問** インターネットを通じて相談できる窓口を開設しては。

**答** **学校教育課長** 市町村で相談窓口サイトを設けているところもある。費用や運営管理を含めて、今後調査研究していきたい。



総務省による啓発ポスター



三芳みらい  
安澤 豊  
あん ざわ ゆたか

## 健康長寿のまちへ！ 食べて！歩いて！健康長寿！

**問** 三芳町健康長寿プロジェクトが1000人規模で開始され、約半年経ったが現在の総参加人数は。

**答** **健康増進課長** 現在の参加人数は977名である。

**問** 年代別で65歳以上の方が52%と半分を超えているが、65歳以上の方の参加人数に変動はないのか。

**答** **健康増進課長** 52%は導入セミナー時点であり、現在は、499名で51%である。

**問** 健康長寿プロジェクトは日頃の運動不足解消のため体を動かすことが目的と考えるのであれば、ウォーキングを促すだけではなく、参加者へのイベントとして「緑のトラスト保全地」及び保存樹林地、平地林落ち葉掃きで1万歩や川越街道ゴミ拾いで1万歩、などの町へのボランティア事業とリンクさせる新しい試みを行ってみてはどうか。

**答** **健康増進課長** 健康長寿事業では日常生活の中で、体を動かす事が重要と考える。参加者へ他のイベントを紹介し参加を促していきたい。

**答** **環境課長** 健康とボランティア活動、環境保全

活動を融合した満足度の高い事業へと繋げていきたい。健康増進課と研究していく。

**答** **観光産業課長** 体験落ち葉掃きにより、体を動かす機会になり平地林も維持され、農業にも生かされる取組となる。健康長寿プロジェクトとタイアップしていけるよう研究したい。

**問** 次回の追加参加者募集は、何名募集するのか。

**答** **健康増進課長** 平成28年度600人程度の追加参加者を募集し、1500人規模で事業を進めていく。

**その他の質問**  
選挙における投票率向上について



公明党  
岩城 桂子  
いわ き けい こ

## 若者が活躍できる地域社会の整備を！ 生活困窮者の子供への学習支援の充実を！

**問** 若者の引きこもりやニートなどの自立支援のために実態調査や相談窓口の設置はどうか。

**答** **福祉課長** 精神保健福祉事業の中で対応している。本人、家族、周辺地域と連携し誰でも相談できる体制をとっている。

**問** 若者雇用促進法で地域若者サポートステーションがあるが、職業的自立に向けた支援はどうか。

**答** **観光産業課長** 県内に4箇所ある。若者向けの職業支援セミナーやパンフレットを役場掲示コーナーに設置しているが、福祉課と連携し情報発信していく。

**問** 子供の貧困を、学校ではどう対応しているか。

**答** **学校教育課長** 随時教育相談で対応している。

**問** スクールソーシャルワーカーの取組みは。

**答** **学校教育課長** 児童虐待や不登校等教育相談専門家で学校や家庭を訪問をし、各関係機関と情報交換し相談解決に取り組んでいる。

**男女共同参画社会を！**

**問** 女性が働きやすい仕事や職場を目指すためマタハラ防止の強化はどうか。

**答** **総務課長** セフハラ防

止と併せて町内企業のアンケート調査で把握していく。

**問** 若年女性の貧困対策についての実態調査はどうか。

**答** **福祉課長** 生活困窮者自立支援法に基づき対応。

**答** **総務課長** 町の第3次男女共同参画基本計画の中で住民意識調査の中に入れるか検討していきたい。

**健康長寿の人生を！**

**問** 高齢者のコミュニティの場であるポケットパークや高齢者に優しい歩道のベンチの設置はどうか。

**答** **都市計画課長** 公有用地や歩道の広さがあれば検討していきたい。



役場掲示コーナーのパンフ



公明党  
小松 伸介  
こまつ しんすけ

## 魅力ある町づくりへの施策について 町民のいのちを守る予防接種等の拡充は

**問** 高齢者の命を守る高齢者肺炎球菌ワクチンの接種率がなかなか上がらない。接種率向上へ、未接種者に個別勧奨通知を実施しては。

**答** 保健センター所長 他自治体での成果は認識している。出来るだけ実施出来るよう部会で検討していく。

**問** ロタウイルス・おたふくかぜ・インフルエンザに対し、子供の命を守る予防接種助成を町で行っては。

**答** 保健センター所長 費用対効果・安全性・財政面、国の動向を考慮し今後検討。

**問** 子供の予防接種スケジュール管理アプリ導入は。

**答** 保健センター所長 保健センター事業一覧にサイトを紹介しているが、アプリについても今後検討する。

**問** 18歳まで子ども医療費無料化を拡大出来ないか。

**答** こども支援課長 国の補助がなく、高額な町負担となるため現状は困難。

**問** 三芳小学校の通学路、県道の歩道へ防護柵設置は。

**答** 道路交通課長 川越原土事務所へ相談している。幹線7号線、マウント

アップ歩道へ防護柵設置は。

**答** 道路交通課長 平成28年度にドラッグストア付近から幹線19号線みらい通り区間で両側に防護柵を設置する方向で話を進めている。

**問** ご当地バイクナンバプレートや三芳検定の検討状況は。

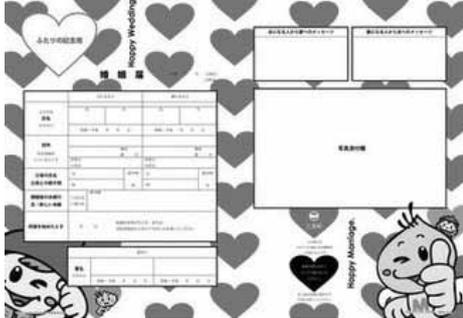
**答** 政策推進室長 シティプロモーション基本方針を策定する中で検討していく。

**問** ご当地婚姻届の導入は。

**答** 町長 実施していく。

**問** 広報に新婚者を紹介するコーナーを設置しては。

**答** 町長 良いコーナーと思う。温かいまちづくりのため出来る事は実施したい。



三芳町オリジナル婚姻届



三芳みらい  
山口 正史  
やまぐち まさふみ

## 生活困窮者対策に関して 自立支援に向けて

**問** 平成27年に生活困窮者自立支援法が制定されたが、町の取組みは。

**答** 福祉課長 成立後に埼玉県社協から委託された三芳町社協と連携し、町の職員が対応する事例が出てきた。また平成27年12月には、各課との連携課題に関して、埼玉県、県社協、県福祉事務所、三芳町社協、福祉課で会議を行った。

**問** 生活困窮者からの支払いなどの相談は、税務課など6課が関係している。課をまたがって情報共有をすべきでは。

**答** 福祉課長 相談があった場合には、まず福祉課に情報が渡される体制が必要だと考える。

**問** 相談者を総合的に支援する、ワンストップ相談体制を整えるべきではないか。

**答** 町長 困窮者の自立支援には相談体制が大事と思う。今後の検討課題としたい。

**問** 生活困窮は子供の貧困にもつながる。自立のためにも就業支援の充実が必要では。

**答** 福祉課長 就業支援は重要と考える。既存の企業とのネットワークを充実させ、情報共有を進めたい。

就業支援は重要と考える。既存の企業とのネットワークを充実させ、情報共有を進めたい。

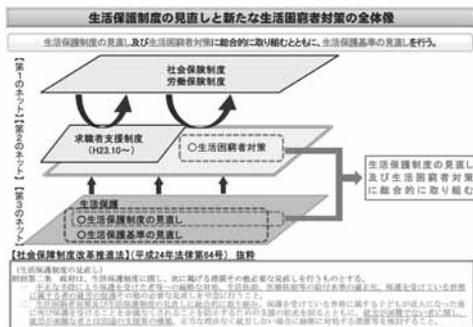
### 第5次行政改革大綱アクションプランに関して

**問** プランでは重点項目と検討項目があるが、検討項目の位置づけは。

**答** 政策推進室長 検討項目は、今後の検討の俎上に載せ、状況によっては重点項目にする場合がある。

**問** 何故、町の財政がここまで悪化したのか。

**答** 政策推進室長 平成21年度と平成26年度を比べると、町を維持する費用(基準財政需要額)が8億9000万円増加しているが、基準となる税収は9000万円しか増加していない。



生活困窮者自立支援法について



三芳みらい  
井田和宏  
い だ かず ひろ

## 緑地の保全と整備について 町の宝を後世に！

**問** 埼玉県緑のトラスト保全地について、取得後の記念イベント等の開催予定は。

**答** 環境課長 平成29年度に住民への周知、関心を高めるために緑化シンポジウム、記念イベント等の開催を考えていきたい。

**問** 取得費、保全管理費のための寄附金募集は。

**答** 環境課長 住民、企業等の理解をいただき寄附を募っていききたい。

**問** 保全管理のためのボランティア募集は。

**答** 環境課長 現在、グリーンサポーター隊によって平地林管理が行われている。今後も住民、企業、大学等の参加型イベント、講座を開催しスタッフの組織化につなげていきたい。

**問** 環境教育の場として活用しては。

**答** 環境課長 子供から大人まで参加できるプログラムを作成し、体験することによってボランティアスタッフの拡大、まちづくりに関わる人材育成につなげるものと考えている。

**問** 保全地の将来像は。

**答** 環境課長 自然の生態系が保たれた癒しの場として継承していきたい。

**問** 今後の保全整備計画は。



取得が決まった  
トラスト保全地

**答** 環境課長 第5次総合計画の中で重点プロジェクトに位置付けられている。今後は、埼玉県や緑のトラスト協会との調整に基づき、緑化推進協議会での協議を踏まえ策定していきたい。

**問** 落ち葉銀行、どんぐり銀行を創設しては。

**答** 環境課長 町の自然や緑地の保全に理解を得られることが考えられる。今後検討していきたい。

**問** 町内緑地保全の今後の方向性は。

**答** 環境課長 保全地域の明確化、景観条例の制定など所有者、住民の意向を踏まえ検討していきたい。

## 路面標示再施工箇所の確認と早期の実施を！ ガードレール等の補修に必要な材料確保を



新芳会  
細谷三男  
ほそ や みつ お

**問** 横断歩道の設置要件は

**答** 道路交通課長 交通規制基準通達を要約すると、車道幅員が3・5m以上で両側に歩道が設置されていて、横断歩道の間隔が200m以上離れていることが要件となっている。

**問** 幹線道路の横断歩道設置箇所、再標示の必要な箇所はどの程度あるか。

**答** 道路交通課長 52箇所である。主に幹線3号線、7号線、16号線である。

**問** センターラインで再標示の必要な距離数は。

**答** 道路交通課長 4500m程度であり、主に幹線14号線、20号線である。

**問** 交差点、停止線、路側帯、スクールゾーン等で再標示の必要な箇所は。

**答** 道路交通課長 通学路、停止線等で67箇所である。

**問** ガードレール等の破損箇所が目立つが、道路パトロールの現状は。

**答** 道路交通課長 ガードレールだけのパトロールは実施していないが、道路補修に行く際、現場を担当する職員が確認して報告するようになっていく。

**問** 道路飛び出し注意の看板設置は、どのような手続で行われているのか。

**答** 道路交通課長 区長、自治会長より要望書をいただき、現地を確認して状況に応じ設置している。

**問** 道路上に乗り上げブロック等が置かれているので、指導してはどうか。

**答** 道路交通課長 植木鉢等は置かないように指導している。

**問** 道路標示、道路パトロールについて町長の見解は。

**答** 町長 路面標示が薄くなっているなど気になる箇所はある。今後、道路パトロール等について、担当課だけが行うのではなく、全職員が心がけるよう指導していきたい。



薄くなった路面表示



日本共産党  
本名 洋  
ほん な ひろし

## 福祉バス利用券は存続できないのか 三芳スマートICフル化で町民の安全は

**問** バス・タクシーなどの障がい者への利用補助は、今後どのような予定か。

**答** 福祉課長 扶助費見直しの中に入っていると認識している。

**問** 町民要望の多い公共交通について、まちづくりの中ではどのように考えるか。

**答** 政策推進室長 住民の移動手段の確保に的確に取り組む必要がある。

**問** 町内循環バスの導入の考えはないか。

**答** 政策推進室長 費用対効果等を検討し、デマンド交通の状況を踏まえ、考えていきたい。

**問** 福祉バス利用券を残すべきでは。

**答** 福祉課長 バス利用券廃止は、第5次行政改革大綱アクションプランで決められた方針なので、ご理解いただきたい。

**三芳スマートICフル化で交通安全は**

**問** 交通事故多発箇所への対応は。

**答** 総合調整幹 「三芳スマートIC安全対策等調整会議」を開き、道路管理者、警察と連携し、具体的検討を進める。

**問** 環境保全や住環境面

での問題は。

**答** 総合調整幹 アクセス道路の改良計画実施や調整会議の検討結果を踏まえ、安全・渋滞対策を踏ま

**答** 政策推進室長 幹線3号線沿いは緑が減り景観上もひどい状態。一定の緑化をしつつ整備を図っていく。

**問** 企業誘致より、住民にとって住みやすいまちづくりをすすめるべきでは。

**答** 町長 厳しい財政下、企業誘致で税収を上げていくことが課題。それにより様々な施策が実行できる。

### その他の質問

自然エネルギーの活用について



## スマートICへの大型車導入は中止すべき 介護保険利用者負担助成の扶助費削減やめよ



日本共産党  
吉村美津子  
よしむら み つ こ

**問** 三芳中学校校庭の桜の木や鉄棒を移転して、中学校前の交差点を拡幅する。そのために校庭が狭くなる。保護者との話し合いが必要ではないか。

**答** 教育総務課長 ご指摘は理解できるが、学校から説明することになる。

**問** 中学校西側のコンビニ二沿いの路側帯は、現況65cm幅を50cmに狭め、南側も同じく75cmを50cmに狭める。路側帯を狭めて車道を拡幅する。これで、交通安全対策ができていたとは言えない。これらの交差点の拡幅や歩道整備費に町の支出額はどのくらいか。

**答** 総合調整幹 3億円だが、変更もあり得る。

**問** 平地林・畑などの用地取得費の町支出額は。

**答** 総合調整幹 5億円。

**問** その他の道路整備費の町支出額は。

**答** 総合調整幹 1億円で、変更もあり得る。

**問** 地権者の「用地を売りたいくない」との声を、町は聞いていると思う。国と町合わせて22億円の支出額と試算。財政面や安全面からも大型車導入計画はやめるべきだ。工事を進めていき地権者に圧力をかけていく

のか。

**答** 町長 強制せず、圧力もかけない。

**生活支援策の扶助費の削減はやめよ**

**問** 介護保険利用者負担助成として2分の1を低所得者支援で実施していたものを4分の1の助成とする。この削減は地方自治体の精神である「福祉の向上」に逆行する。生活を支えるはずの扶助費の大幅な縮減により、介護が必要な人も利用を抑えなければならなくなるが、それをどう思うか。

**答** 町長 財政が厳しいのでご理解いただきたい。



三芳中学校前交差点



日本共産党  
増田 磨美  
ます だます み

## 町は、子育て支援とどう向き合っていくのか 町立保育所の現状と今後の運営について

**問** 町の子育て交流拠点として、大事に引き継がれてきた町立第2保育所の民営化が平成28年度、検討される。説明資料の「町立保育所の現状と今後の運営について」質問するが「安定的な保育の実施と質の維持向上」とは保護者と共に子供を育てる信頼関係が結べるか、保育者が保育力を高めていく教育環境があるかどうか、保育士が安心して保育を展開していけるか等ではないか。民間でなくともできるのでは。

**答** **こども支援課長** 民間も公立も可能だが、民間には、国県から補助金があるので各種サービスができる。サービスの展開という意味では、民間も選択肢の一つ。

**問** 課題を踏まえて保育所の方向性の検討を行っていくとの説明だったが、民営化に絞って考えていくか。

**答** **こども支援課長** 民営化を中心に考えてはいるが、公立のあり方や有効性、保育の質の向上も取り上げて、運営方法も合わせて考えていく。



保育所の様子

**問** 公私連携型の場合、児童福祉法56条で公有設備の無償または、廉価での貸与、貸付、譲渡が可能となる。そのため、公立保育所の建物が無償譲渡や、数十万、数百万で手放すという例が出ている。三芳町の第2保育所は平成24年、平成25年に議会でも議論を重ね、2億3000万円をかけて耐震補強工事を済ませて新築同様にしたばかり。町民の財産を守るという意味でも、民間への移管は、そぐわないと思うが。

**答** **町長** 検討委員会を設置して公立の有り方、民営化の有効性、保育の質の向上を考えた上で、民営化ありきではなく考え、問題をクリアして行ければ、民営化の方向も考えていく。

## 町内全域におけるインフラ整備の充実を！ 子育て支援、高齢者福祉に対する不満の解消



久保 健二  
く ぼ けん じ

**問** 鶴瀬駅西通り線の国道までの拡幅時期はいつ頃か。

**答** **都市計画課長** 建物の移転が平成27年度末に完了。平成28年度事業で整備予定。

**問** 国道より西側の拡幅はいつ頃を予定しているか。

**答** **都市計画課長** 測量、物件調査を実施し用地交渉を進めている。平成28年度補正予算等で用地交渉を行い、交差点改良工事までには拡幅整備を行いたい。

**問** 鶴瀬駅西通り線、幹線19号線拡幅工事及び交差点改良完了後の交通量推計は。

**答** **都市計画課長** 平成23年11月30日に交通量調査を実施。午前7時から午後7時までの交通量は鶴瀬駅西通り線が1255台、幹線19号線が335台。平成42年将来交通量推計で鶴瀬駅西通り線が5300台、幹線19号線が2400台。

### 福祉サービスについて

**問** 福祉バス利用券が96枚から24枚、平成28年度は廃止になるとのことだが実際に平成26年度、平成27年度の該当者数、配布枚数、利用者数は。

**答** **福祉課長** 平成26年度は対象者7067人、配布枚数23万7627人、利用枚数8万905枚。平成27年度は該当者数7290人、配布枚数4万6848枚、利用枚数2万9581枚。

**問** 福祉バス利用券廃止により不満の声が挙がっているがどう捉えているのか。

**答** **福祉課長** 利用者には申し訳なく思っている。

**問** ふれあいセンターの利用期間が半年間延長されるが耐震などの不安・問題等、安全対策は考えているのか。

**答** **福祉課長** ガラスの飛散防止シート等で対応。

### その他の質問

①三芳中学校校門、北永井郵便局前の水害問題。②道路通報アプリの導入推進について。



今後の動向が注目されるふれあいセンター